

出向く宮農レポート

～品質向上を目指して～



南部宮農センター
山口 凛

今回は、豊明フレッシュセンターや学校給食に出荷している豊明産直友の会会員の石川博正さんの圃場に出向きました。石川さんの圃場では、キャベツ、プチヴェール®、カリフローレなど複数の野菜が栽培されており、一つひとつ丁寧に栽培管理されています。

11月から順次出荷しているカリフローレはカリフラワーの一種であり、JAあいち尾東で特産品として栽培されています。訪問時はすでに収穫が始まっており、圃場ではこれから収穫間近のカリフローレが数多く栽培されていました。

カリフローレを含むアブラナ科野菜の栽培で注意しなければならない病気の一つに、べと病があります。

べと病は春・秋の比較的気温の低い時期に雨が続きと発生しやすく、カリフローレでは下葉に黄色病斑を生じたのち、葉全体が黄化して枯死します。

対策としては密植を避けこまめに除草すること、農薬を使用し防除することなどが挙げられます。今回はダコニール1000やランマンフロアブルで防除していただくように案内しました。



石川さんにインタビューしてみました!!

Q 農業を始めたきっかけは何ですか？

A もともと親が農業をやっていて、土地や農業機械などが揃っていたので仕事を退職するとともに始めました。農業を始めて10年目になります。

Q カリフローレを栽培するうえで気を付けていることはありますか？

A カリフローレは寒さで霜が降りると変色し傷んでしまうので、寒くなってきたら花蕾を外葉で包んでいます。

Q カリフローレのおすすめの食べ方を教えてください

A 茎が甘いので、スティックにしてドレッシングやマヨネーズをつけて食べるのがおすすめです。

べと病対策



ダコニール1000

- 希釈倍数: 1000倍
- 使用方法: 散布
- TPNを含む農薬の総使用回数: 3回以内

※使用に際しては製品ラベルの記載内容に従ってご使用ください。



ランマンフロアブル

- 希釈倍数: 2000倍
- 使用方法: 散布
- シアゾファミドを含む農薬の総使用回数: 6回以内

(育苗期の灌注は1回以内、本圃での株元灌注は1回以内、散布は4回以内)